足立区議会議長 鹿 浜 昭 様

足立区議会議員 31 番 浅子 けい子 印

文 書 質 問 書

会議規則第60条の2第2項の規定に基づき、次のとおり文書質問書を提出します。

記

テ ー マ 及 び 質 問 項 目

1、【「北千住駅東口周辺まちづくり構想（変更案）」の全体について】

平成20年に策定された「北千住駅東口周辺まちづくり構想」が10年経過し、今回「変更案」が示され、12月13日、14日に説明会が開かれた。また、来年の1月8日までパブリックコメントも実施されている。地域住民の意見を反映し、北千住駅東口がより災害に強く、安心・安全なまちになるよう質問する。

(1) 今回の変更の理由は、「3. 11、東京電機大学の誘致、そして今回の台風19号」と、状況が変化したからだと区は答えている。最初の「構想」からわずか10年しかたっており、東京電機大学の誘致と交通広場以外は、道半ばである。とりわけ木造密集地域の主要生活道路や細街路などの整備は今後も時間をかけて実施していくものである。区は、現在「変更案」の実施期間についての質問に対し、50年くらいを見ているとしているが、現在、「まちづくり構想」策定から10年で変更しなければならない状況になっていることから考えれば、50年もかかる「まちづくり構想」をいま決定するなどあまりにも先が長く、無理がある。10年ごとに区切り、一期、二期、三期…などとし、住民に各期ごとの「構想」の具体案を示し、意見や要望を聞くべきではないかと思うがどうか。

(2) 区は「まちづくり構想」を変更するにあたり、前回同様、今回もアンケート調査を実施した。平成20年策定の際には地域内のみであった対象を、今回は地域内、地域外、来街者にひろげ、今回のアンケートにはいままでになくお金もかけたというが、支給品も含め、それぞれの予算と、その内訳も明らかにされたいがどうか。

(3) 2日間の説明会では、率直な意見や要望が出され、あらためて地域の力はまちづくりにこそ生かされるべきと感じた。来年1月8日まで実施されているパブリックコメントも受けて、区は「北千住駅東口周辺まちづくり構想」を来年1月下旬に決定するとしているが、寄せられた住民の声がどのように「まちづくり構想」に反映したのかを、あらためて説明会を開催するなどして住民に明らかにされたいがどうか。

2、【「北千住駅東口周辺まちづくり構想（変更案）」の具体的内容について】

(1) 区は、地域内、地域外、来街者にアンケート調査を行い、北千住駅東口に他からもっと人を呼び込むことに力点を置いている事がみとれる。説明会では、アンケー

トの「今後取り組んでほしいこと」には出てこない『ホテル』が、今後の「土地利用転換に合わせたにぎわいの創出…」の項に突然出ていると指摘があった。

また、駅前に商業施設の誘導をうたっているが、現在住居が密集する駅前東西の住民を追い出そうとでも考えているのか。地域の賑わいを考えるのであれば、説明会でも意見があった商業施設は駅前ではなく、街中にこそ誘導すべきと思う。区が指摘しているように、日常生活用品を買える店がなくなってしまう、南千住や綾瀬に行ったりしている「暮らしにくいまち」の解消を図る必要があると思うがどうか。また、まちづくりの基本は、そこに住む住民と行政が共同して作り上げていくものだと思うがどうか。

(2) 区は、駅前(区画街路13号)をオープンスペースにすると平成20年の時から計画している。いままでは沿道整備街路事業をとってきたが、今回は「市街地再開発事業等の活用による」となっている。「沿道整備街路事業」はもうあきらめてしまったのか。民間デベロッパー主導でできた市街地再開発準備組合を優先し、区民の税金を投入する再開発事業に道を開くことになるのではないかと思うがどうか。

(3) 区は、前回も今回も地区の将来像に「下町情緒」を入れているが、「まちづくり構想」のなかで下町情緒にむけての具体化が見えてこない。どのように考えているのか。説明会では「健康増進のために浴場」の活用という意見があったが、下町ならではの浴場を活用することは、年齢を超えたコミュニティの場としても大変有効だと考える。浴場の位置づけを改め、いまある浴場を応援するため、更なる支援を強めていくことが必要ではないかと思うがどうか。

(4) また、この地域は高齢者の人口が増え、他の地域よりも高齢者の割合は多いとするなか、東口交通広場を発着所にして京成バスの運行経路を地域に広げるよう区からも要望すべきではないかと思うがどうか。

(5) 今回、新たに「災害の危険性」が位置付けられたが、住民が最も心配をしているのは「荒川の氾濫」であり、特に京成本線荒川橋梁付近の低い堤防の問題だ。荒川堤防の他の箇所は土を盛って高さを確保したが、鉄橋の部分だけは「かさ上げ」ができなかった。「荒川最大の弱点」とされている。国土交通省の管轄である京成本線橋梁架替事業の完成には事業着手から16年かかると言われている。温暖化の影響で、台風の強大化や豪雨災害の対策は待ったなしだ。国の事業完了を待つことなく、区の英知を集めて命を守ることを第一にあらゆる対策を実行すべきと思うがどうか。